SDGs達成に向けた取組みチェックリス **新規**　事業者名：ユニオンエンジニアリング株式会社

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具体的な取組みを記載してください。
・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的な取組みを記載のうえ、提出してください。

（様式第2号）

基本項目記入数　25　　チャレンジ項目記入数　9

| 分類 | No. | チェック項目 | 基本 | チャレンジ | 具体的な取組み<br>（※事業者が記載する欄） | 主なSDGs（17のゴールと169のターゲット）<br>1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 13 | 14 | 15 | 16 | 17 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 組織・公正な取引 | 1 | 【内部管理体制】<br>・経営理念及び経営目標を社内で共有、実践している。 | ● | | 『早さより正確性。そのための段取り』を経営理念として社長と従業員が常に共有し、安全かつ高品質な施工を実践している。 | | | | | | | | 8 | 9 | | | | | | | | 17 |
| | 2 | 【法令遵守】<br>・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している。 | ● | | 建設業法や労働安全衛生法などの関連法規を遵守することはもちろん、コンプライアンスに関する情報共有を徹底し、全従業員の意識向上にむけて取り組んでいる。 | | | | | | | | | | | | | | | | 16 | |
| | 3 | 【公正な競争】<br>・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している。 | ● | | 公共工事の入札において、談合等の不正行為を一切行わない方針を全社で徹底している。品質と技術力で公正に競争し、顧客の信頼に応える。 | | | | | | | | | | 10 | | | | | | 16 | |
| | 4 | 【組織体制】<br>・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当や専門部署などの体制を整備している。 | ● | | 自らの事業活動が、社会・環境に及ぼす正と負の影響（可能性）を把握して、担当部署にて管理している。 | | | | | | | | | | | | | | | | 16 | |
| | 5 | 【知的財産保護】<br>・知的財産の保護に取り組んでいる。 | ● | | 業務で使用する全てのPCソフトウェアは、正規ライセンス品のみを使用することを徹底しています。ソフトウェア管理台帳を作成し、ライセンス違反がないか定期的に確認します。 | | | | | | | | 8.2<br>8.3 | 9 | | | | | | | 16 | |
| | 6 | 【個人情報保護】<br>・個人情報を適切に管理している。 | ● | | 個人情報を適切に管理する社内規程を定め、情報漏洩防止を徹底している。 | | | | | | | | | | | | | | | | 16 | |
| | 7 | 【ステークホルダーとの対話】<br>・ステークホルダー（※）との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している。（※利害関係者：消費者、投資家等及び社会全体） | ● | | 行政、取引先、従業員など、主要なステークホルダーと定期的に対話し、事業活動への期待や要望を把握している。特に、公共インフラを担う企業として、地域社会からの信頼を最も重視している。 | | | | | | | | | | | | | | | | 16 | 17 |
| | 8 | 【サプライチェーン管理】<br>・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応（ハラスメント・汚職・贈収賄防止）について認識を共有し、共に取り組んでいる。 | | ● | 資材の調達や業務委託において、取引先が法令を遵守し、従業員の人権に配慮した経営を行っているかを確認している。特に、建設業界の課題である長時間労働の是正に貢献するため、無理な工期での発注は行わない。 | | | | | 5 | | | 8 | | 10 | | 12 | 13 | 14 | 15 | 16 | 17 |
| | 9 | 【災害や事故への備え】<br>・地震や水害などの自然災害や事故などに備え事業継続計画（BCP）を策定し、訓練や見直しを行っている。 | | ● | 平成28年熊本地震の教訓を踏まえ、災害時にも事業を継続し、地域のライフラインである水道施設の早期復旧にあたるための事業継続計画（BCP）を策定予定。<br>・【予定】令和8年8月までにBCPを策定し、災害に備えた訓練を実施する。 | | | | | | | | | 9 | | 11 | | 13.1 | | | 16 | 17 |
| | 10 | 【事業承継】<br>・事業承継に関する検討・対策を行っている | | ● | 企業の永続的な発展のため、従業員への資格取得支援を積極的に行い、次世代の経営や現場を担う人材の育成に計画的に取り組んでいる。これにより、円滑な技術継承と事業承継の基盤を構築する。 | | | | | | | | 8 | 9 | | | | | | | | 17 |
| | 11 | 【公正な貿易】<br>・フェアトレード商品の調達に取り組んでいる。 | | ● | 当社の事業では海外からの直接調達はないが、国内の取引においても、サプライヤーの適正な利益や労働環境に配慮した『公正な取引』を基本方針としている。<br>・【予定】令和8年8月までにフェアトレード商品の調達、ないしは社員への福利厚生としての食料品購入を行う。 | 1 | 2 | | | 5 | | | 8 | | | | 12 | 13 | 14 | 15 | 16 | 17 |
| 労働・人権 | 12 | 【差別の禁止】<br>・性別、年齢、障がい、国籍、出自などによる差別や各種ハラスメントを防ぐ体制が整備され、社内で差別や人権侵害がないことを確認している。 | ● | | 採用や評価において、性別や年齢等による差別を一切行わないことを社内規程で定めている。また、ハラスメントのない健全な職場環境を維持するため、定期的な面談に取り組んでいる。 | | | | 4.3<br>4.4<br>4.5 | 5.1<br>5.2<br>5.5 | | | 8.5<br>8.7<br>8.8 | | 10.2<br>10.3 | | | | | | 16.1<br>16.2<br>16.7 | |
| | 13 | 【労働安全衛生】<br>・業務中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる。 | ● | | 毎日の朝礼での危険予知（KY）活動やヒヤリハット事例の共有を徹底している。また、定期的な安全パトロールを実施し、労働災害ゼロの現場を目指している。 | | | 3 | | | | | 8.8 | | | | | | | | | |
| | 14 | 【公正な待遇】<br>・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している。 | ● | | 同一労働同一賃金ガイドラインに沿って、従業員（正社員・パート社員）の公正な待遇を行っている。 | | | | | 5.5 | | | 8.5 | | 10.2<br>10.3 | | | | | | | |
| | 15 | 【ワークライフバランス】<br>・働き方の見直し等により、過度な長時間労働を防止し、家庭と仕事の両立を図るためのワークライフバランスを推進している。 | ● | | DX推進による業務効率化や、適切な工程管理によって、不要な残業の削減に取り組んでいる。また、従業員の有給休暇の計画的な取得を奨励し、心身のリフレッシュを支援している。 | | | 3 | | 5.5 | | | 8.5<br>8.8 | | 10.3 | | | | | | | |
| | 16 | 【人材育成】<br>・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している。 | ● | | 管工事施工管理技士や電気工事士など、業務に必要な国家資格の取得を全社的に支援している。研修参加費や受験費用を会社が負担し、全従業員のスキルアップを後押ししている。 | | | | 4 | 5.5 | | | 8 | 9 | | | | | | | | |
| | 17 | 【健康経営】<br>・従業員が心身ともに健康を維持できるよう対策を講じ、生産性の向上等に取り組んでいる。 | ● | | ストレスチェックを実施し、従業員の心身の健康状態を把握している。健康で長く働ける職場づくりを進めている。 | | | 3 | | | | | 8 | | | | | | | | | 17 |
| | 18 | 【ダイバーシティ経営】<br>・多様な人材（女性、外国人、障がい者、高齢者等）が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる。 | ● | | 年齢や経験に関わらず、多様な人材がその能力を最大限に発揮できる職場を目指している。特に、経験豊富なベテラン従業員の技能を尊重し、若手への技術継承の担い手として活躍できる環境を整備している。 | | | | 4.4 | 5.1<br>5.5 | | | 8.5 | | 10.2<br>10.3 | | | | | | 16.7 | |
| | 19 | 【新しい生活様式への対応】<br>・新型コロナウイルスをはじめとする感染症対策としても有効なテレワークや時差出勤、ウェブ会議等を導入している。 | | ● | 現場作業が中心だが、事務作業についてはテレワークも一部導入している。また、取引先との打ち合わせにはウェブ会議を積極的に活用し、移動時間の削減と感染症対策を両立している。 | | | 3 | | | | | 8 | 9.1 | | 11 | 12 | | | | | |
| | 20 | 【デジタルトランスフォーメーション（DX）の推進】<br>・ICTやAIを活用したデジタル化やオンライン化等のDXの推進により業務の効率化やビジネスモデルの変革に取り組んでいる。 | | ● | 現場写真の整理、日報作成、工程管理にITツールを導入し、業務効率化と情報共有の迅速化に取り組んでいる。将来的には、データを活用した施工計画の最適化を目指す。 | | | | | | | | 8 | 9.1 | | 11 | 12 | | | | | |
| | 21 | 【ブライト企業】<br>・ブライト企業に認定されている。 | | ● | | | | 3 | 4 | | | | 8 | 9 | | | 12 | | | | | |

SDGs達成に向けた取組みチェックリス **新規**　事業者名：ユニオンエンジニアリング株式会社

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具体的な取組みを記載してください。
・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的な取組みを記載のうえ、提出してください。

（様式第2号）

基本項目記入数 25　チャレンジ項目記入数 9

| 分類 | No. | チェック項目 | 基本 | チャレンジ | 具体的な取組み（※事業者が記載する欄） | 主なSDGs（17のゴールと169のターゲット） 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 13 | 14 | 15 | 16 | 17 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 環境 | 22 | 【環境汚染予防】<br>・廃棄物や有害化学物質の適切な管理、及び処理に取り組んでいる。 | ● | | 建設現場で発生する廃棄物を法令に基づき適正に分別・保管・処理している。また、環境負荷の少ない資材を優先的に採用することで、有害化学物質の使用削減に取り組んでいる。 | | | 3.9 | | | 6.3 | | | | | 11.6 | 12.4 | | 14.1 | 15.1 | | |
| | 23 | 【エネルギー】<br>・電力やガソリンなど、自社のエネルギー使用量を把握し、その削減に取り組んでいる。 | ● | | ・【予定】本年（2025年）9月より、簡易計算シートを用いて、事務所の電気使用量と社用車のガソリン使用量を毎月記録し、エネルギー使用量を定量的に把握する体制を構築します。<br>・また、社用車において、上記で把握した燃費データを基に、経済速度での運転やアイドリングストップを全従業員で徹底します。 | | | | | | | 7.3 | | | | | | 13 | | | | |
| | 24 | 【温暖化対策】<br>・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる。 | ● | | ・【予定】本年（2025年）9月より、簡易計算シートを用いて、自社のCO2排出量を算定・把握します。<br>・把握した排出量データを参考に、より一層の排出削減を目指し、無駄のない効率的な運行計画の立案やアイドリングストップを徹底します。また、事務所での節電活動を通じて、エネルギー消費を抑制し、CO2排出量の削減に努めます。 | | 2.4 | | | | | 7.2<br>7.3<br>7.a | | | | | 12.4 | 13 | 14 | 15 | | |
| | 25 | 【生物多様性】<br>・自社活動が環境（生物多様性や生態系等）に悪影響を及ぼさないように配慮している。 | ● | | 工事の実施にあたり、地域の生態系への影響を最小限に抑えるよう配慮している。特に、在来の植生を保護し、外来種の侵入を防ぐなど、地域の自然環境保全に取り組んでいる。 | | | | | | 6.6 | | | | | | | | 14 | 15 | | |
| | 26 | 【効率的な資源利用】<br>・ごみを減らし、資源を有効的に繰り返し使うため、発生抑制（リデュース）、再使用（リユース）、再生利用（リサイクル）に取り組んでいる。 | ● | | 発生抑制（リデュース）、再利用（リユース）、再生利用（リサイクル）の3Rを徹底している。分別を徹底しリサイクル率の向上に努めるとともに、梱包材の少ない資材を選択し、ごみの発生自体を抑制している。 | | | | | | | | | 9.4 | | | 12.2<br>12.4<br>12.5 | | 14.1 | 15 | | |
| | 27 | 【水の管理】<br>・熊本の水資源の質と量の保全に取り組んでいる。 | ● | | 当社の事業そのものが、安全な水の安定供給と水質保全に直結している。漏水のない確実な施工を通じて限りある水資源の保全に貢献するとともに、汚水を適切に処理する衛生設備を構築し、地域の水環境を守っている。 | | 2.4 | | | | 6.1<br>6.3<br>6.4<br>6.6<br>6.b | | | | | 11.5 | | | 14.1<br>14.2<br>14.3 | 15 | | 17 |
| | 28 | 【環境に配慮した製品等】<br>・環境に配慮した製品の購入や製品の開発・製造に取り組んでいる（グリーン購入、リサイクル製品認証等）。 | ● | | 給排水設備工事において、節水効果の高い機器や、リサイクル材を積極的に活用した資材を優先的に選定・提案している。これにより、グリーン購入を推進している。 | | | | | | | | | 9.4 | | | 12.4<br>12.5 | 13 | 14 | 15 | | |
| | 29 | 【食品ロスの削減】<br>食品ロスの削減に取り組んでいる。 | | ● | 事業活動で直接食品ロスが発生することはないが、企業の社会的責任としてこの問題を意識している。社内での会食等では、食べ残しゼロに取り組んでいる。 | 1 | 2 | | | | 6.4 | | | | | | 12.3 | | 14 | 15 | | 17 |
| | 30 | 【緑の保全管理】<br>・壁面緑化や植栽など緑の創出と保全、管理に取り組んでいる。 | | ● | 工事完了後の埋め戻しや整地の際には、地域の景観に配慮し、現状復旧を徹底している。 | | | | | | | | | | | 11.6<br>11.7 | | 13.1<br>13.3 | | 15 | | 17 |
| | 31 | 【エネルギー効率の見直し・再生可能エネルギーの利用】<br>・高効率機器の導入等によるエネルギー使用率の改善または再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる。 | | ● | 事務所のLED化に加え、空調設備の適切な温度管理と定期的なメンテナンスを行い、エネルギー効率の維持・向上に取り組んでいる。 | | | | | | | 7.1<br>7.2<br>7.3<br>7.a | | 9.4 | | 11.5 | | 13.1<br>13.3 | | | | |
| | 32 | 【森林資源の循環利用に向けた取組み】<br>・”伐って、使って、植えて、育てる”の持続的な森林利用への取組みを推進している。 | | ● | | | | | | | 6 | | | 9.4 | | 11.3<br>11.4<br>11.5 | 12.2 | 13 | | 15 | | |
| | 33 | 【植林等の取組み】<br>・植林等の森林整備活動に取り組んでいる。 | | ● | | | | | | | 6.1<br>6.3<br>6.6 | | | | | 11.3<br>11.4<br>11.5 | 12.2 | 13 | | 15 | | |
| | 34 | 【海洋ごみ】<br>・環境中で分解しにくいプラスチックの使用削減等、海洋ごみ、海洋汚染の防止削減に貢献している。 | | ● | | | | | | | | | | | | | 12.2<br>12.5 | | 14 | | | |
| | 35 | 【環境に配慮した交通手段】<br>・電車やバスなどの公共交通機関の利用や、電気自動車や水素自動車などの環境にやさしい自動車の使用を促進している。 | | ● | | | | | | | | | | 9.4 | | 11.2 | | 13.1<br>13.3 | | | | |
| | 36 | 【2050年CO2排出量実質ゼロへの取組み】<br>・2050年CO2排出実質ゼロを目指し、計画的にCO2削減に取り組んでいる。 | | ● | | | | | | | | 7.1<br>7.2<br>7.3<br>7.a | | 9.4 | | 11.6<br>11.a | 12.8 | 13 | | | | 17.2 |

SDGs達成に向けた取組みチェックリス **新規**　事業者名：ユニオンエンジニアリング株式会社

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具体的な取組みを記載してください。
・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的な取組みを記載のうえ、提出してください。

（様式第2号）

基本項目記入数 25　チャレンジ項目記入数 9

| 分類 | No. | チェック項目 | 基本 | チャレンジ | 具体的な取組み（※事業者が記載する欄） | 主なSDGs（17のゴールと169のターゲット） 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 13 | 14 | 15 | 16 | 17 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 製品・サービス | 37 | 【製品・サービスの安全性と品質】<br>・製品・サービスの安全性や品質を確保する仕組みを構築している。 | ● | | 『早さより正確性』を品質方針とし、施工計画から完成までの各工程で、複数人による品質・安全チェック体制を構築している。これにより、地域の皆様が長期にわたり安心して利用できる社会インフラを提供する。 | | | 3.9 | | | | | | 9 | | | 12.4 | | | | | |
| | 38 | 【ユニバーサルデザイン 】<br>・障がい者、高齢者に特定せず、誰もが利用しやすいサービス提供や環境整備を行っている。 | ● | | 当社が施工する公共設備は、年齢や性別、能力に関わらず、誰もが安全かつ快適に利用できることを目指している。特に、歩道などの工事においては、段差の解消や十分な幅員の確保など、ユニバーサルデザインの考え方を取り入れた設計・施工を行っている。 | | | | | | | | | 9.1 | 10 | 11.7 | | | | | | 17 |
| | 39 | 【地域資源】<br>・地産地消を推進し、熊本県産の原材料を優先的に使用している。 | | ● | | | 2.3<br>2.4 | | | | | 7.3 | 8 | 9 | | 11.a | 12.3 | 13 | 14 | 15 | | 17 |
| | 40 | 【木質化の取組み】<br>・自社の執務室等の天井や床、壁等の内装や外壁等に木材を使用し、木質化を推進している。 | | ● | | | | | | | | 7 | | | | | 12.2 | 13.1 | | 15 | | |
| | 41 | 【社会課題解決】<br>・社会課題を解決するための製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる。 | | ● | | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 13 | 14 | 15 | 16 | 17 |
| | 42 | 【攻めの農林水産業】<br>・地域における産学官連携等による新たな品種開発を促進するなど、地域レベルで農林水産業の生産能力向上に取り組んでいる。 | | ● | | | 2.3<br>2.4 | | | | | | 8.2 | 9.2<br>9.4 | | 11.a | 12.2 | | 14 | 15 | | 17 |
| 持続可能な社会・地方創生 | 43 | 【地域への参画】<br>・自治活動や福祉活動、防災活動や寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる。 | ● | | 地域事業者として、地域の清掃活動への参画している。 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 13 | 14 | 15 | 16 | 17 |
| | 44 | 【防災、減災、レジリエンス（自助）】<br>・過去の地震や水害などの災害を教訓に、事業への被害を防止・軽減するため、ハザードマップを確認し、避難行動計画や事前防災対策を進めている。 | ● | | 平成28年熊本地震や近年の豪雨災害を教訓に、本社及び事業所が位置する地域のハザードマップを全従業員で共有している。災害発生時の事業継続だけでなく、従業員とその家族の安全を最優先とした避難行動計画を策定・周知している。 | | | | 4 | | | | | | | 11.5 | | 13.1 | | | 16 | |
| | 45 | 【防災、減災、レジリエンス（共助）】<br>・地域防災の担い手としての認識を持ち、防災士、水防団員、救助救急等の必要な技能を持つ社員を育成したり、地域消防団の活動に参加している。 | | ● | | 1.5 | | 3 | 4 | | | | | | 10.2 | 11.5 | | 13.1 | | | 16 | 17 |
| | 46 | 【防災関連商品の開発・販売】<br>・防災関連商品の開発・販売を促進している。 | | ● | | | | | | | | | | 9 | | 11 | 12 | 13.1 | | | | |
| | 47 | 【SDGsの普及啓発】<br>・環境問題や人権問題をはじめとした社会課題の解決に向け、SDGsの普及啓発や教育機会の提供を行っている。 | | ● | | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 13 | 14 | 15 | 16 | 17 |
| | 48 | 【インターンシップ等の受入れ】<br>・職場体験、インターンシップの受入れ、職場関連授業の実施など、地域の児童や学生に対し、職業の学びの場を提供している。 | | ● | | | | | 4 | | | | 8.6 | | 10.2 | | | | | | | 17 |
| | 49 | 【若者の地元定着等】<br>・若者の県内就職を促進する取組みを行っている。 | | ● | | | | | 4.4 | | | | 8.5<br>8.6 | | | | | | | | | 17 |
| | 50 | 【農林水産業の担い手確保】<br>・子どもに対する農林水産業教育を行うなど、地域における農林水産業従事者の確保に取り組んでいる。 | | ● | | | 2 | | 4.3<br>4.4<br>4.5 | | | | 8.6 | | 10.2 | | 12 | 13 | 14 | 15 | | 17 |
| | | | 25 | 25 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具体的な取組みを記載してください。
・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的な取組みを記載のうえ、提出してください。